

科目名	インターンシップ		英文表記	Internship		2014/3/7	
科目コード	4401						
教員名:4年担任 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			4年	必	履修	3単位	講義
科目目標	① 座学や実験などで学んだ知識が企業活動にどのように関わっているかを就業体験を通して理解する。 ② 就業体験を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考えることができる。 ③ 就業体験を通して、企業活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識する。 ④ 企業における多様な価値観を認識することができる。						
総合評価	インターンシップ先企業からの評価書(40%)、各学生の製作するインターンシップ報告書(40%)、インターンシップ発表(20%)で評価し、合計点が60%以上で合と評価する。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法			目標割合
	①	座学や実験などで学んだ知識が企業活動にどのように関わっているかを就業体験を通して理解する。(B-1, B-2, B-3, C-1, C-2, C-3)		⇒	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の製作するインターンシップ報告書、インターンシップ発表で評価		25%
	②	就業体験を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考えることができる(A-1, A-2, A-3, C-1, C-2, C-3)		⇒	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の製作するインターンシップ報告書、インターンシップ発表で評価		25%
	③	就業体験を通して、企業活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識する(B-1, B-2, B-3, C-1, C-2, C-3)		⇒	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の製作するインターンシップ報告書、インターンシップ発表で評価		25%
	④	企業における多様な価値観を認識することができる(A-1, A-2, A-3, C-1, C-2, C-3)		⇒	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の製作するインターンシップ報告書、インターンシップ発表で評価		25%
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学	
			○	◎	JABEEプログラム教育目標	A-1, A-2, A-3, B-1, B-2, B-3, ◎C-1, C-2, C-3	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	90	10	100	
基礎的理解	①②			20		20	
応用力(実践・専門・融合)	③④			40		40	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③④			10	10	20	
主体的・継続的学修意欲	②③④			20		20	
授業概要、方針、履修上の注意	・学校教育と就業体験の結合により学習効果および学習意欲の向上を図り、高い職業意識を育成し、自主性・独創性のある人材の育成を目指す。 ・各種企業・官公庁等での実習(体験)により、修得した専門知識や技術に裏打ちを与えたり、実社会で必要な素養・能力・価値観の必要性を体験・自覚させ、実社会の生きた知識を身につける。 ※ 受け入れ先企業の中での体験学習であるため、服装やマナーに関しては十分な注意が必要である。 ※ インターンシップの日数は平均10日(土日休日除く)とし、10日×1日8時間勤務=80時間とします。 ※ 企業によってインターンシップ日数に違いがあるため、単位時間が80時間に満たない場合は、事前・事後の企業研究等と課すことにより時間を満たすことがあります。						
教科書・教材	Alt+Enterで改行						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス・企業研究(企業活動の理解)	5	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスし、インターンシップ先の企業研究を行う。	企業に関するレポート	
2	インターンシップ	80	夏季休業中に10～14日間実施する ①実務を経験する ②高専での授業の関連性を理解する ③仕事の進め方を考え、自ら行動し、適性を考える ④企業の社会的責任を理解する	企業における業務日誌の作成、企業内での研究報告会およびその準備	
3	成果報告	5	インターンシップ報告書の作成と発表	本校におけるインターンシップ報告書の作成・報告会の準備	
4					
5					
6					
7					
8	前期中間試験(行事予定で変更可)				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23	後期中間試験(行事予定で変更可)				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		90	実時間	67.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	企業研究によるレポート			各2時間×15回	
②	企業研修中の業務日誌の作成			各2時間×10回	
③	本校におけるインターンシップ報告書の作成・報告会の準備・進路に関する検討			各2時間×15日	
備考欄					
(共通記述) ・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・この科目の主たる関連科目:沖繩高専セミナー(1年)、◎産業創造セミナー(3年)、◎卒業研究(5年) その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)